

第 263 回

クラシックファンのためのコンサート

2025 年 4 月 17 日 (木) 大阪倶楽部 4 階ホール 午後 7 時開演

音楽と物語で綴る宮沢賢治の世界

ソプラノ 和田友紀菜 チェロ 水野奈美 ピアノ 南木千絵

朗読 山下美紀子



<プログラム>

南木千絵 作曲 宮沢賢治 作

「土神と狐」/「松の針」/「序」

「注文の多い料理店」

場内展示: 上野陽子 作

銅版画『土神と狐』より2点: 「聖夜」/「残された物」

第 263 回は「音楽と物語で綴る宮沢賢治の世界」と題し、ピアノ、ソプラノ、チェロ、そして朗読による演奏会を行いました。賢治の作品を読んでそのイメージで作曲されたチェロとピアノによる「土神と狐」、ソプラノとピアノによる「松の針」では、最初にあらすじなどの解説があり、想像の膨らむ演奏を聴かせてくださいました。「注文の多い料理店」では、息の合った 3 人の奏者と朗読によりユーモアと不気味さの入り混じった感じが表現され、さらに作品を楽しむことができました。また、銅版画家の上野陽子氏が制作してくださった「土神と狐」の版画 2 点が会場に展示され、多くの方が興味深くご覧になっていました。今回はいつもと少し違う趣向でしたが、宮沢賢治の世界を音楽と共に堪能したひと時でした。

<ご来場者のアンケートより>

- ・チェロの重厚で豊かな響き、そしてソプラノの高く美しい伸びやかな声、朗読も素晴らしかったです。
- ・音楽 詩 物語・・・芸術にあふれた空間でした。フォーレやドビュッシーが集ったフランスのサロンはこんな感じだったのでは、と思いました。大好きな宮沢賢治が音楽になる幸せな空間で、満ち足りた時間を過ごしました。
- ・音楽がさまざまな情景や感情を呼び起こし、賢治の世界観を堪能しました。帰ったら、もう一度賢治の作品を読み返してみたいくなりました。
- ・初めて朗読形式でクラシックを拝聴させていただきましたが、心地よく惹きつけられました。

NPO 法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南 2 丁目 18 番 16 号

TEL 080-4824-4001 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp